

## 今後の調査・検討について

### 1. 調査・検討の流れについて

#### (1) 今年度の調査・検討事項

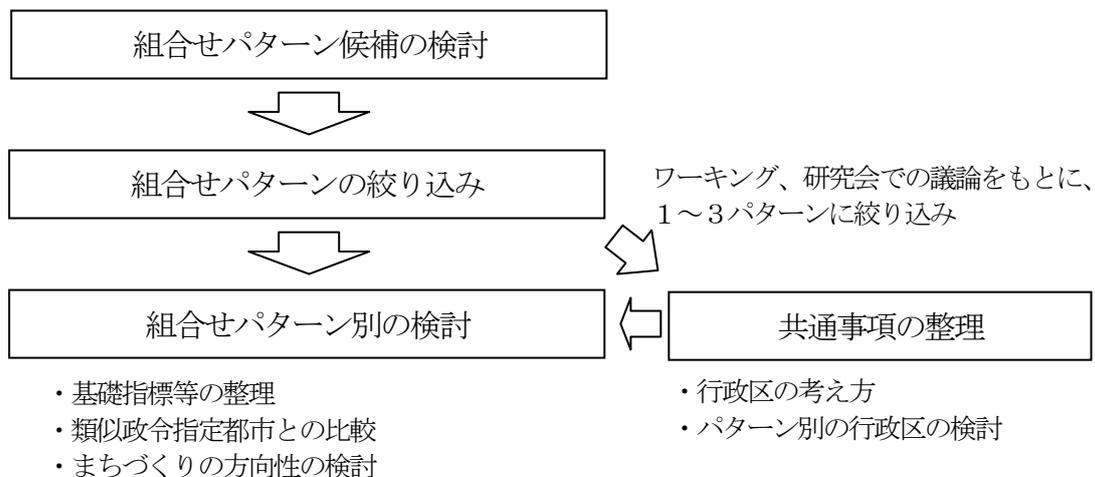
今年度は、中間報告第3章「政令指定都市に関わる詳細検討」に記載された項目について、調査・検討を行う。

#### 中間報告第3章の記載項目

##### ■ 組合せパターン別の検討

- ・ 組合せパターン別の指標等の整理  
パターン別の人口、面積、組織、財政規模  
パターン別のまちづくりに関する共通の課題や目標（方向）の整理  
類似する政令指定都市との比較検討
- ・ 広域的まちづくりの可能性  
パターン別のまちづくりの可能性の検討
- ・ 行政区の考え方  
パターン別の行政区の考え方

#### (2) 調査・検討の流れ



## 2. パターン別の検討に際してのポイント

組合せのパターンを検討するに際して、考慮すべきポイントとして、以下の要件が考えられる。

### (1) 人口要件

新合併特例法（平成 22 年 3 月末期限）のもとでの合併を想定していない以上、従来の要件である「人口 80 万人以上で将来的に 100 万人程度が期待できる」を前提とする必要がある。

人口が 100 万人を下回る場合、TX 沿線の開発等に伴い当面の間人口増が見込まれるものの、将来的に 100 万人程度までの人口増を説明できるかが懸念事項として考えられる。

⇒ 人口 100 万人以上のパターンを前提とする。

(例) 松戸・野田・柏・流山・我孫子・鎌ヶ谷	1,391,440 人
松戸・野田・柏・流山・我孫子	1,288,628 人
松戸・柏・流山・我孫子	1,137,388 人
松戸・柏・流山	1,006,183 人

※ 人口は、平成 17 年国勢調査結果による。

### (2) 地理的要件

市町村が位置している地理的な条件を考慮すると、飛び地が発生するようなケースについては、非効率のため対象としない。

(例) 柏市を除外した場合の我孫子市、柏市と流山市を除外した場合の野田市は飛び地となり、この場合の行政は非効率的である。

### (3) 鉄道・道路網のつながり

以下のような鉄道・道路網のつながりを考慮に入れることも考えられるのではないかな。

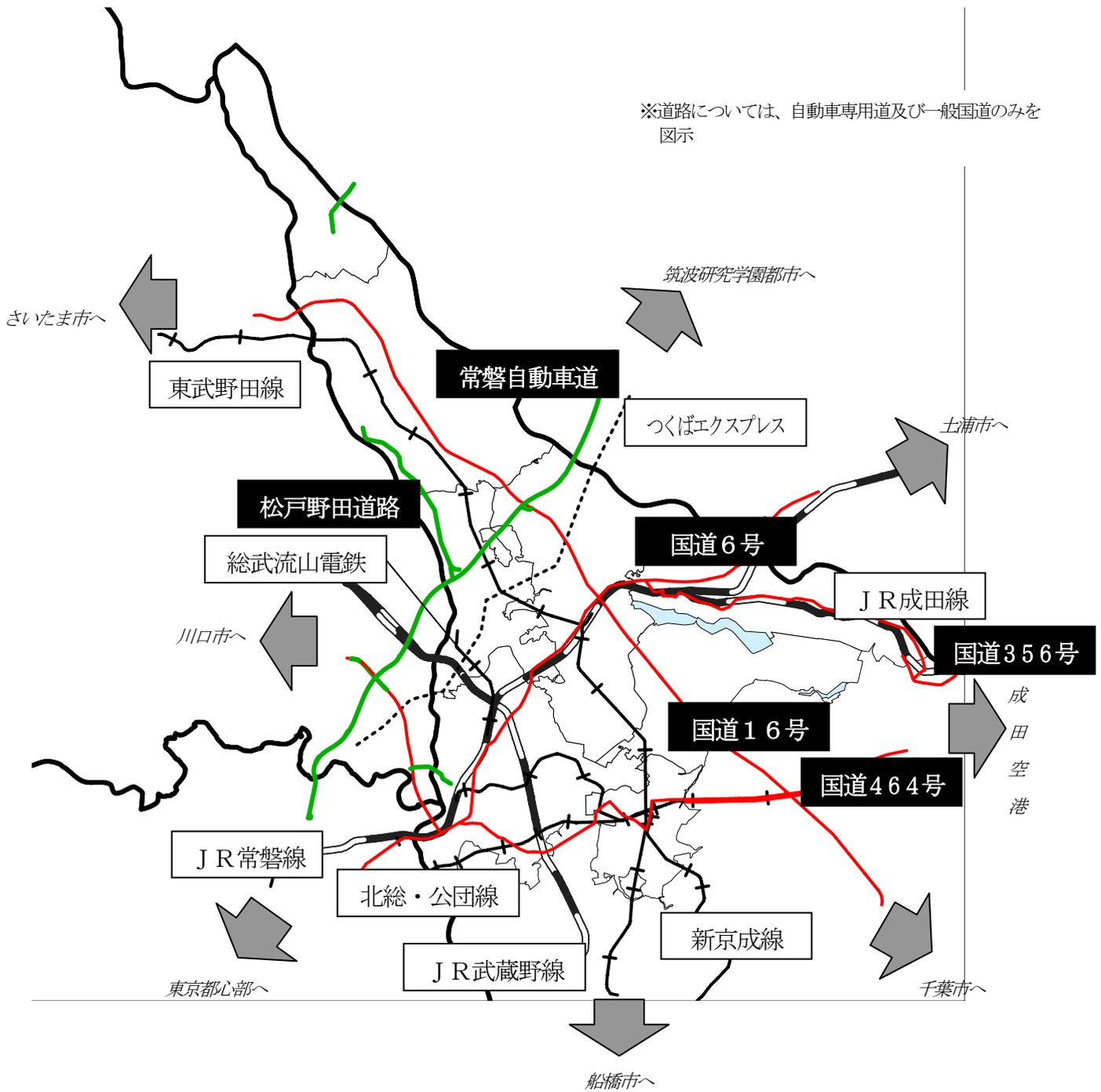
#### 【放射線状の結びつき】

○常磐線	: 松戸市, 柏市, 我孫子市
○つくばエクスプレス	: 流山市, 柏市
○北総線	: 松戸市, 鎌ヶ谷市
□国道 6 号	: 松戸市, 柏市, 我孫子市
□常磐自動車道	: 流山市, 柏市

#### 【環状の結びつき】

○武蔵野線	: 流山市, 松戸市
○流山電鉄	: 流山市, 松戸市
○新京成電鉄	: 松戸市, 鎌ヶ谷市
○東武野田線	: 野田市, 流山市, 柏市, 鎌ヶ谷市
□国道 16 号	: 野田市, 柏市
□国道 464 号	: 松戸市, 鎌ヶ谷市

(参考) 主な交通基盤の状況



出典) 東葛市町広域行政連絡協議会「広域連携のあり方に関する調査報告書」(平成15年3月)

(4) 広域的な事務処理等のつながり

東葛地域内における広域的な事務処理等の状況を考慮に入れることも考えられるのではないか。

広域的な事務処理等の状況

名称	構成団体	内容
東葛中部地区総合開発事務組合	柏市, 流山市, 我孫子市	障害者自立支援施設, 斎場
柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合	柏市, 白井市, 鎌ヶ谷市	し尿・ごみ処理, 施設周辺の環境整備

(5) その他の要件

東葛地域というカテゴリーの他に、葛南地域との結びつきのつよい市など、各市の持つ地域特性も考慮に入れる必要があるか。

(例) 鎌ヶ谷市 四市複合事務組合(特別養護老人ホーム, 斎場)  
(船橋市, 習志野市, 八千代市)

松戸市, 鎌ヶ谷市 広域行政に関する調査・研究会  
(市川市, 船橋市, 習志野市, 八千代市, 白井市)

保健所等の管轄

	保 健 所		法 務 局		税 務 署	
松 戸 市	松戸保健所	○	松戸支局	○	松戸税務署	○
野 田 市	野田保健所	△	野田出張所	△	柏税務署	□
柏 市	柏保健所	□	柏市支局	□	柏税務署	□
流 山 市	柏保健所 ⇒ 松戸保健所	□⇒○	松戸支局	○	松戸税務署	○
我 孫 子 市	柏保健所 ⇒ 松戸保健所	□⇒○	柏支局	□	柏税務署	□
鎌ヶ谷市	習志野保健所	■	市川支局	▲	松戸税務署	○

注 1) 記号は各官公署の拠点を示している。

○: 松戸市、△: 野田市、□: 柏市、■: 習志野市、▲: 市川市

2) 流山市、我孫子市を管轄する保健所は、平成 20 年 4 月に柏市が中核市に移行することに伴い、松戸保健所に変更される予定である。

### 3. 組合せ可能なパターン例

2. (1), (2) の要件を踏まえ、組合せ可能なパターンを整理すると、以下のとおりとなる。

- (1) 松戸・野田・柏・流山・我孫子・鎌ヶ谷 1,391,440 人
- (2) 松戸・野田・柏・流山・我孫子 1,288,628 人 (除：鎌ヶ谷)
- (3) 松戸・野田・柏・流山・鎌ヶ谷 1,260,235 人 (除：我孫子)
- (4) 松戸・柏・流山・我孫子・鎌ヶ谷 1,240,200 人 (除：野田)
- (5) 松戸・野田・柏・我孫子・鎌ヶ谷 1,238,799 人 (除：流山)
- (6) 松戸・野田・柏・流山 1,157,423 人 (除：我孫子, 鎌ヶ谷)
- (7) 松戸・柏・流山・我孫子 1,137,388 人 (除：野田, 鎌ヶ谷)
- (8) 松戸・野田・柏・我孫子 1,135,987 人 (除：流山, 鎌ヶ谷)
- (9) 松戸・柏・流山・鎌ヶ谷 1,108,995 人 (除：野田, 我孫子)
- (10) 松戸・野田・柏・鎌ヶ谷 1,107,594 人 (除：流山, 我孫子)
- (11) 松戸・柏・我孫子・鎌ヶ谷 1,087,559 人 (除：野田, 流山)
- (12) 松戸・柏・流山 1,006,183 人 (除：野田, 我孫子, 鎌ヶ谷)
- (13) 松戸・野田・柏 1,004,782 人 (除：流山, 我孫子, 鎌ヶ谷)

(参考) 東葛6市位置図



(参考) パターン別昼夜間人口比

	夜間人口 (人) ①	昼間人口 (人) ②	昼夜間人口比 ②/①
(1) 松戸・野田・柏・流山・我孫子・鎌ヶ谷	1,388,092	1,145,930	0.83
(2) 松戸・野田・柏・流山・我孫子	1,285,332	1,070,013	0.83
(3) 松戸・野田・柏・流山・鎌ヶ谷	1,256,889	1,044,775	0.83
(4) 松戸・柏・流山・我孫子・鎌ヶ谷	1,236,932	1,008,371	0.82
(5) 松戸・野田・柏・我孫子・鎌ヶ谷	1,235,808	1,036,233	0.84
(6) 松戸・野田・柏・流山	1,154,129	968,858	0.84
(7) 松戸・柏・流山・我孫子	1,134,172	932,454	0.82
(8) 松戸・野田・柏・我孫子	1,133,048	960,316	0.85
(9) 松戸・柏・流山・鎌ヶ谷	1,105,729	907,216	0.82
(10) 松戸・野田・柏・鎌ヶ谷	1,104,605	935,078	0.85
(11) 松戸・柏・我孫子・鎌ヶ谷	1,084,648	898,674	0.83
(12) 松戸・柏・流山	1,002,969	831,299	0.83
(13) 松戸・野田・柏	1,001,845	859,161	0.86

(出典) 平成17年国勢調査

※夜間人口(常住地による人口)は年齢不詳のものを集計から除いているため、当該地域の確定人口とは一致しない。

#### 4. 検討すべき組合せ（案）

3で掲げた組合せパターン別に評価を行うと、以下のとおりである。

(1) 松戸・野田・柏・流山・我孫子・鎌ヶ谷

※ 東葛地域としての組み合わせの基本であり、検討する。

(2) 松戸・野田・柏・流山・我孫子

(3) 松戸・野田・柏・流山・鎌ヶ谷

(4) 松戸・柏・流山・我孫子・鎌ヶ谷

(5) 松戸・野田・柏・我孫子・鎌ヶ谷

※ 市域が不整形であり、効率性という点で評価は低い。

(6) 松戸・野田・柏・流山

(7) 松戸・柏・流山・我孫子

(8) 松戸・野田・柏・我孫子

※ 市域が不整形であり、効率性という点で評価は低い。

(9) 松戸・柏・流山・鎌ヶ谷

(10) 松戸・野田・柏・鎌ヶ谷

※ 南北に細長い地域であり、効率性の面で評価は低い。

(11) 松戸・柏・我孫子・鎌ヶ谷

(12) 松戸・柏・流山

(13) 松戸・野田・柏

※ 市域が不整形であり、効率性という点で評価は低い。

※ 1市だけを除いたパターンは検討対象としないことも考えられる。

※ あまり多くの数の組み合わせを検討することに意味があるかどうか、市民へのわかりやすさも踏まえて検討が必要ではないか。

## 5. パターン別の検討について

### (1) パターン別の基礎指標等の整理について

#### ①データの整理

パターン別に表示するデータとしては、以下のものが考えられる。

- ・人口
- ・面積
- ・昼夜間人口比
- ・議員，職員の人数
- ・合併した場合の財政規模等の大まかな試算  
→合併に伴う経費削減効果と，政令指定都市移行に伴う歳入歳出増を簡易に試算

		項目 (案)	考え方等 (案)
合併による経費削減効果	人件費  (政令指定都市移行による影響も加味)	特別職	常勤の特別職のうち、市長、副市長、教育長を対象。合併後は市長1、副市長2、教育長1とし、削減人数に6市の平均給料年額を乗じて算出。 ※公営企業管理者、常勤監査委員、非常勤特別職(行政委員会委員)などは今回は試算対象外 ※用いる平均給料、平均報酬は、いずれのパターンも「6市平均」に統一する。以下同様。(各パターン別の比較を行いやすくするため)
		一般職員	国の第8次定員モデル(指定都市)の試算値の使用を試みる。試算困難な場合は、各パターン別に人口規模が類似する政令指定都市の人口あたり職員数の平均をもとに合併・政令指定都市移行後の職員数を求める。 現在の職員数の合計から、合併後のモデル値を引いたものを削減人数とし、6市の職員平均給与を乗じて算出。 ※職員数については、集中改革プラン目標値ではなく今年度当初値を用いる。 ※第9次定員モデルが公表された場合は、第9次を用いる。
		議員	地方自治法に基づく人口別の上限数を定数とし、現在の条例定数の合計との差を求め削減議員数とする。それに6市の平均議員報酬年額を乗じて算出。
		※物件費、補助費など、その他の費目について	合併による削減効果を現時点では明確に試算することは困難であるため試算対象外
政令指定都市移行による変化	歳入	(試算対象外) 地方税	政令指定都市移行による財政特例措置に関連する固定資産税、法人市民税(均等割)ともに試算困難。 ただし、これにより課税額が増える可能性がある旨は文章で表記する。 併せて、政令指定都市移行とは関係ないが、合併による事業所税が新たに課される事業所もある旨、記載する。

		項目 (案)	考え方等 (案)
		国・県支出金	近年、政令指定都市へ移行した市における増加率の平均を求め、算出。 (積み上げでの試算は不可能)
		(試算対象外) 地方交付税	現時点での試算は不可能であるため、実施しない。(各市の財政担当課の協力を得られる場合は、平成19年度の算定方法を用いて試算することもあり得る)
		宝くじ販売収益金	本地域の宝くじ販売額のデータを入手できる場合は、現在の千葉県(千葉市を除く)の収益金から按分(パターン別)して求める。 求められない場合は、参考値として地理的条件の類似する千葉市、さいたま市の人口1人あたり収益金の平均値を求め、各パターンの人口に乗じて算出。
		道路特定財源の譲与及び交付金	地方道路譲与税(増額分)、石油ガス譲与税(新規)、軽油引取税交付金(新規)、自動車取得税交付金(増額分)については、いずれも政令市が管理する国県道の延長及び面積等が試算のベースとなっている。平成19年度予算ベースでの、千葉市(軽油引取税交付金などは県税がベースとなるため、同一県内の政令指定都市を指標に用いる。)の国県道の延長(面積は略)と予算額の比率を求め、それを単価として各パターンに適用。 ※交通安全対策特別交付金の増額分については 試算対象外
	歳出	国県道の維持管理等(土木関連)	歳入の「道路特定財源の譲与及び交付金」と同額とする
	政令市の道路距離等のデータを県市町村課に依頼して収集	民生、保健衛生、教育	近年移行した、静岡市、堺市、新潟市、浜松市の移行前後の経費増分の人口あたり額の平均を求め、それを単価として各パターンに適用。
		その他、都市計画関連など	中間報告の p17 を見てもわかるように、土木、民生、保健衛生、教育以外の経費増の影響は小さいと考えられるため、省略。

## ②共通項目の整理

パターン別の各市の共通事項について、整理する。

- ・道路、鉄道等の交通関係
- ・歴史、文化、生活圏等の結びつき
- ・公共施設等の整備状況
- ・共通する主な地域課題

## (2) 類似する政令指定都市との比較について

パターン別に類似する政令指定都市等はどこか、また概要に掲げた指数の比較検討を行う。

- ・類似市の概要(人口、面積、議員、職員、組織、予算、行政区の規模など)

(3) パターン別のまちづくりの方向性の検討について

※パターン別のまちづくりの方向性について記載するのか、記載するとすればどのような整理をすべきか、検討を要する。

※中間報告の「3. 広域的まちづくりの可能性」において、全構成市についての広域的なまちづくり可能性について既に整理を行っていることを踏まえることが必要。

※組合せが変わる（いずれかの市が抜ける）ことによって、全構成市の場合とは別に、新たなまちづくりの方向性を見出すことは困難であることも想定される。

6. 共通事項の整理について

(1) 行政区の考え方について

行政区を設置するにあたっての基本的な考え方を整理する。

- ・ 1区あたりの標準的な人口規模
- ・ 行政区の役割・機能についての基本的な考え方
- ・ 行政区の検討  
市の変遷や選挙区等の前提条件の整理とそれを踏まえた具体的検討
- ・ 地域自治区についての考え方

## 政令指定都市シンポジウムの開催について（案）

平成 19 年〇月〇〇日  
東葛広域行政連絡協議会  
（事務局：柏市企画調整課）  
電話 04-7167-1117  
FAX 04-7167-6644

東葛広域行政連絡協議会（構成市：松戸市，野田市，柏市，流山市，我孫子市，鎌ヶ谷市）では、広域行政のあり方について調査・研究することを目的として、平成 18 年 5 月 8 日に、各市の企画担当部長で構成する政令指定都市問題研究会を設置し、政令指定都市制度の概要や道州制等の政令指定都市への影響，政令指定都市移行により想定される変化・影響等にかかわる論点，広域的課題と政令指定都市に係る考察，広域的まちづくりの可能性などについて検討を行い，このたび中間報告として取りまとめを行ったところです。

そこで、中間報告について東葛地域の皆さんへの周知を図るとともに、政令指定都市や東葛地域の将来のまちづくりについて、市民の皆様にご検討いただくための契機として、「政令指定都市シンポジウム」を開催することといたしました。

市民の皆様には、ぜひ御参加いただきたいと思います。

## 1 内容

- (1) テーマ 「政令指定都市を考えよう～東葛地域の未来のために～」
- (2) 日時・場所 〇月〇〇日（〇）〇〇：〇〇～〇〇：〇〇・〇〇市市民会館
- (3) 募集人員 〇〇〇人

## 2 主な構成

- (1) 政令指定都市問題研究会中間報告の概要

- (2) 基調講演 〇〇 〇〇さん  
〇〇大学〇〇〇〇教授

- (3) パネルディスカッション  
コーディネーター 〇〇 〇〇さん  
パネラー 〇〇 〇〇さん（〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇）  
〇〇 〇〇さん（〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇）  
〇〇 〇〇さん（〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇）

- (4) 質疑応答

## 3 問合せ先・申し込み

柏市企画部企画調整課  
電 話：04-7167-1117  
FAX：04-7167-6644  
Eメール：kikakuchosei@city.kashiwa.lg.jp

## 平成19年度 政令指定都市問題研究会スケジュール (時点修正後)

- 5月 定期総会（鎌ヶ谷市）  
・ 中間報告(案)説明及び各首長の意見集約
- 6月 各構成市議会等への情報提供  
中間報告の公表について
- 6月 政令指定都市問題研究会ワーキング第5回会議(会場：我孫子市)  
・ 政令指定都市に係る詳細検討について（内容等）
- 7月
- 8月 政令指定都市問題研究会第5回会議(会場：我孫子市)  
・ 政令指定都市に係る詳細検討について（内容等）
- 9月 政令指定都市問題研究会ワーキング第6回会議(会場：鎌ヶ谷市)  
・ 政令指定都市に係る詳細検討（組合せパターン別の検討等）
- 10月 政令指定都市問題研究会第6回会議(会場：鎌ヶ谷市)  
・ 政令指定都市に係る詳細検討（組合せパターン別の検討等）
- ※ シンポジウム（10月OR 11月）
- 11月 政令指定都市問題研究会ワーキング第7回会議(会場：柏市)  
・ 政令指定都市に係る詳細検討（組合せパターン別の検討等）
- 1月 政令指定都市問題研究会第7回会議(会場：柏市)  
・ 政令指定都市に係る詳細検討（組合せパターン別の検討等）
- 2月 政令指定都市問題研究会ワーキング第8回会議(会場：野田市)  
・ 最終報告書取りまとめ
- 3月 政令指定都市問題研究会第8回会議(会場：野田市)  
・ 最終報告書取りまとめ

- ※ 先進地視察（一箇所）をできるだけ早い時期に実施する方向で検討する。第1希望静岡市
- ※ シンポジウムの取扱いについて要検討

## 構成6市と政令指定都市の主要指標比較表

## ①人口、面積

	市名	夜間人口 (人) ①	昼間人口 (人) ②	昼夜間人口 比 ②/①	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
政令 指定都市	札幌市	1,877,965	1,893,946	1.01	1,121.12	1,675.08
	仙台市	1,020,160	1,098,981	1.08	788.09	1,294.47
	さいたま市	1,172,677	1,077,638	0.92	217.49	5,391.87
	千葉市	919,550	894,027	0.97	272.08	3,379.70
	横浜市	3,545,447	3,205,144	0.90	434.98	8,150.83
	川崎市	1,326,152	1,154,436	0.87	144.35	9,187.06
	静岡市	713,406	741,583	1.04	1,388.74	513.71
	名古屋市	2,193,973	2,516,196	1.15	326.45	6,720.70
	京都市	1,460,688	1,582,980	1.08	827.90	1,764.33
	大阪市	2,594,686	3,581,675	1.38	222.11	11,681.99
	神戸市	1,520,551	1,547,971	1.02	551.97	2,754.77
	広島市	1,144,498	1,174,401	1.03	905.01	1,264.62
	北九州市	992,654	1,020,447	1.03	486.81	2,039.10
福岡市	1,384,925	1,571,184	1.13	340.60	4,066.13	
東葛6市	松戸市	470,285	379,315	0.81	61.33	7,668.11
	野田市	151,160	137,559	0.91	103.54	1,459.92
	柏市	380,400	342,287	0.90	114.90	3,310.70
	流山市	152,284	109,697	0.72	35.28	4,316.44
	我孫子市	131,203	101,155	0.77	43.19	3,037.81
	鎌ヶ谷市	102,760	75,917	0.74	21.11	4,867.84
6市計	1,388,092	1,145,930	0.83	379.35	3,659.13	
(参考) 順位	7	9	15	9	7	
出典	国勢調査 「従業地・通学 地集計」	国勢調査 「従業地・通学 地集計」		構成市：千葉県市町村 課「土地に関する概要 調査」 政令市：横浜市HP		
年次	2005(H17)年	2005(H17)年		構成市：2005年1月1日 現在 政令市：2007年3月1日 現在		
備考	夜間人口(常住地による人口)は年齢不詳のものを集計から除いているため、当該地域の確定人口とは一致しない。					

②産業

	市名	事業所数	小売業 年間商品 販売額 (百万円)	卸売業 年間商品 販売額 (百万円)	製造品 出荷額等 (百万円)
政令 指定都市	札幌市	71,293	2,322,604	7,703,897	550,263
	仙台市	43,462	1,246,421	6,590,399	771,325
	さいたま市	32,645	1,051,986	2,797,272	690,944
	千葉市	27,195	962,956	2,328,089	994,273
	横浜市	107,201	3,621,591	5,688,918	4,268,924
	川崎市	41,249	1,140,019	1,899,548	3,858,387
	静岡市	37,966	802,288	2,477,240	1,406,458
	名古屋市	128,649	3,066,661	24,796,736	3,495,193
	京都市	80,227	2,033,288	3,611,758	2,226,476
	大阪市	203,220	4,542,042	41,110,016	4,135,816
	神戸市	70,364	1,745,264	3,967,454	2,508,433
	広島市	50,073	1,372,467	6,657,447	1,766,672
	北九州市	47,997	1,146,500	1,932,395	1,752,618
福岡市	70,373	1,820,212	11,702,079	618,840	
東葛6市	松戸市	13,297	385,691	412,652	426,856
	野田市	4,723	116,310	97,819	287,645
	柏市	10,360	438,606	463,046	392,953
	流山市	3,782	101,725	60,831	50,707
	我孫子市	3,080	80,976	40,079	156,541
	鎌ヶ谷市	2,952	54,110	18,904	30,514
6市計		38,194	1,177,418	1,093,331	1,345,216
(参考) 順位		12	10	15	10
出典	事業所・企業統計調査	商業統計調査	商業統計調査	工業統計調査	
年次	2004(H16)年	2004(H16)年	2004(H16)年	2004(H16)年	
備考	野田市は旧関宿町、柏市は旧沼南町を含む	野田市は旧関宿町、柏市は旧沼南町を含む	野田市は旧関宿町、柏市は旧沼南町を含む	野田市は旧関宿町、柏市は旧沼南町を含む	

③福祉、教育

	市名	医療施設数	人口千人あたり 医療施設数	社会福祉施設数	人口千人あたり 社会福祉施設数	義務教育施設数	義務教育施設数	
							(小学校数)	(中学校数)
政令 指定都市	札幌市	2,612	1.39	537	0.29	317	210	107
	仙台市	1,426	1.40	430	0.42	200	129	71
	さいたま市	1,297	1.11	244	0.21	143	89	54
	千葉市	1,206	1.31	217	0.24	181	121	60
	横浜市	4,674	1.32	716	0.20	542	365	177
	川崎市	1,578	1.19	376	0.28	175	118	57
	静岡市	887	1.24	210	0.29	143	89	54
	名古屋市	3,404	1.55	560	0.26	386	262	124
	京都市	2,646	1.81	669	0.46	297	192	105
	大阪市	5,700	2.20	1,225	0.47	463	310	153
	神戸市	2,550	1.68	772	0.51	279	175	104
	広島市	1,907	1.67	419	0.37	220	143	77
	北九州市	1,787	1.80	563	0.57	209	137	72
	福岡市	2,380	1.72	473	0.34	231	148	83
東葛6市	松戸市	549	1.17	102	0.22	71	48	23
	野田市	146	0.97	85	0.56	32	20	12
	柏市	438	1.15	94	0.25	63	41	22
	流山市	146	0.96	58	0.38	23	15	8
	我孫子市	142	1.08	34	0.26	19	13	6
	鎌ヶ谷市	106	1.03	38	0.37	14	9	5
6市計		1527	1.10	411	0.30	222	146	76
(参考) 順位		—	15	—	9	—	—	—
出典		医療施設調査・ 病院報告		社会福祉施設 等調査		学校基本調査		
年次		2004(H16)年		2004(H16)年		2004(H16)年		
備考		柏市は旧沼南町 を含む		柏市は旧沼南町 を含む		柏市は旧沼南町を含む		

④生活環境(公園、下水道)

	市名	都市公園数	人口千人あたり 都市公園数	下水道普及率
政令 指定都市	札幌市	2,556	1.36	99.5%
	仙台市	1,437	1.41	97.2%
	さいたま市	688	0.59	81.3%
	千葉市	879	0.96	95.9%
	横浜市	2,451	0.69	99.7%
	川崎市	901	0.68	99.1%
	静岡市	408	0.57	70.2%
	名古屋市	1,328	0.61	98.2%
	京都市	776	0.53	99.1%
	大阪市	951	0.37	※100.0%
	神戸市	1,476	0.97	98.4%
	広島市	1,072	0.94	92.4%
	北九州市	1,573	1.58	99.8%
福岡市	1,509	1.09	99.4%	
東葛6市	松戸市	209	0.44	75.3%
	野田市	144	0.95	49.6%
	柏市	457	1.20	83.9%
	流山市	261	1.71	61.2%
	我孫子市	194	1.48	76.7%
	鎌ヶ谷市	148	1.44	46.9%
6市計		1413	1.02	-
(参考)順位		-	5	-
出典	統計で見る市区町村のすがた			日本下水道協会資料
年次	2003(H15)年度末			2005(H17)年度末時点
備考	柏市は旧沼南町含む			下水道普及率は、下水道利用人口/総人口。※は四捨五入の結果100となっていることを示す。